



食品開発展2025 出展のようす

- 本社所在地：神奈川県横浜市中区長者町2-5-18ピアセントラル304
- 事業概要：植物由来の健康食品原料、化粧品原料の輸出入、植物エキスを新素材（天然有効成分）の技術開発
- 常時使用する従業員：12名
（2026年3月時点）
- 現在の売上高：32億円
（2026年3月期）
- 法人番号：3020001039124
- Web：
<https://www.phytopharma.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
司馬 駿一

健康維持と豊かな暮らしの実現に貢献する

当社は、中国・東南アジアの素材製造メーカーと日本の生産技術、製品及び市場開発機能を結びつけ、世界の美容と健康に対するニーズに応え、更に高齢化に対応する健康食品の開発、販売を通じ、豊かな暮らしの実現に貢献してまいります。また、藻類を含む植物エキスを新素材開発の過程において、カーボンニュートラル・スマートエネルギーネットワーク構築に貢献すべく新たな技術開発に積極的に取り組みます。事業規模の拡大を通じた地域の雇用機会創出と従業員の待遇改善に投資を行うことで、当社を取り巻くステークホルダー（地域経済、取引先・協業先、当社従業員）との共存共栄を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年の売上高達成に向け、藻類由来の健康成分に着目し、新たな植物・藻類エキスを新素材（天然有効成分）の生成・抽出にかかる技術開発と、現有する自社設備の新規稼働・付加価値向上に向けた設備投資（DX、労働生産性向上を含む）を行います。今回、新たな植物エキスの抽出・精製を可能とする新技術の開発に取り組みます。新たな植物エキスの供給による収益拡大を手段として、年率30%程度の成長を目指しています。

課題

- ・最先端設備への積極投資をはかり、藻類・植物（天然有効成分）が本来有する機能への当社の理解と技術開発力を存分に活かし新素材開発の速度をさらに向上します。
- ・新素材の量産ニーズへの対応を拡充すべく、開発/製造体制の拡充・製造設備の見直しを行います。ソフトウェア、生産設備のDX推進を通じた省力化を検討しています。
- ・国内外の事業拠点の設置、拡大をはかります。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・フコキサンチノール抽出・精製の新たな技術ライセンス供与等による技術標準化も含めた、事業拠点の拡充（生産体制の拡充・日本・中国・ASEAN諸国を始め世界市場への販路開拓）
- ・技術開発・製造の効率化に必要な最先端設備（IOT）への積極投資と上記の投資効果に対する社内評価、検証の実施
- ・従業員への利益還元（賃金引上げ、福利厚生充実）による、社員モチベーションの向上・採用強化
- ・地球環境にやさしい、環境循環型プラットフォームの構築を通じた、サステナブルな社会実現への貢献。（企業価値の向上）

実施体制

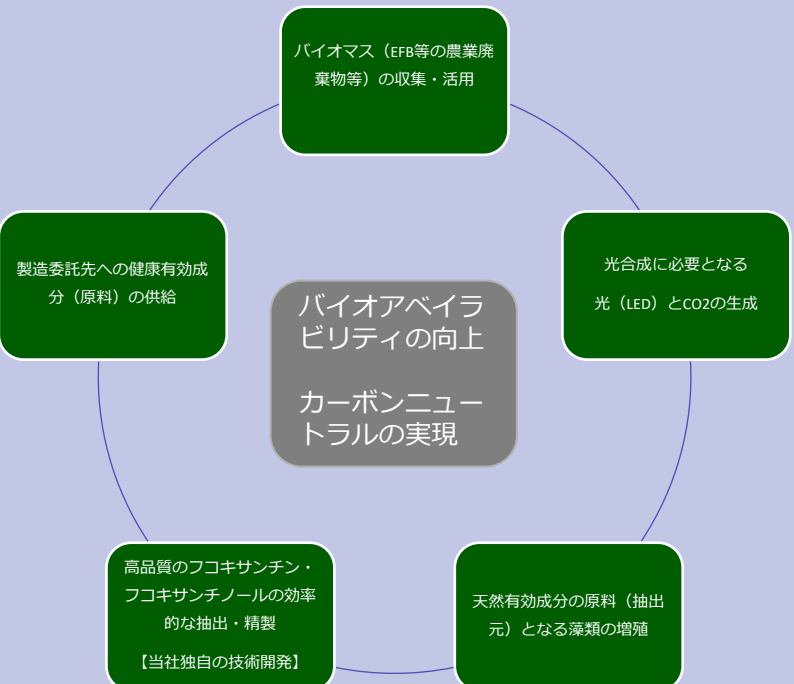
- ・産官学連携での、新素材の新たな抽出・精製技術開発およびカーボンニュートラルを実現する革新的な生産（生成）プロセスの構築を行う。
- ・新たな生産体制の立ち上げ（自社設備の強化）
- ・協力会社の開拓とネットワークの強化
- ・外部コンサルタントや金融機関、公的支援機関等の外部パートナーの知見やノウハウの取り入れを行う。

売上高100億円実現の目標と課題

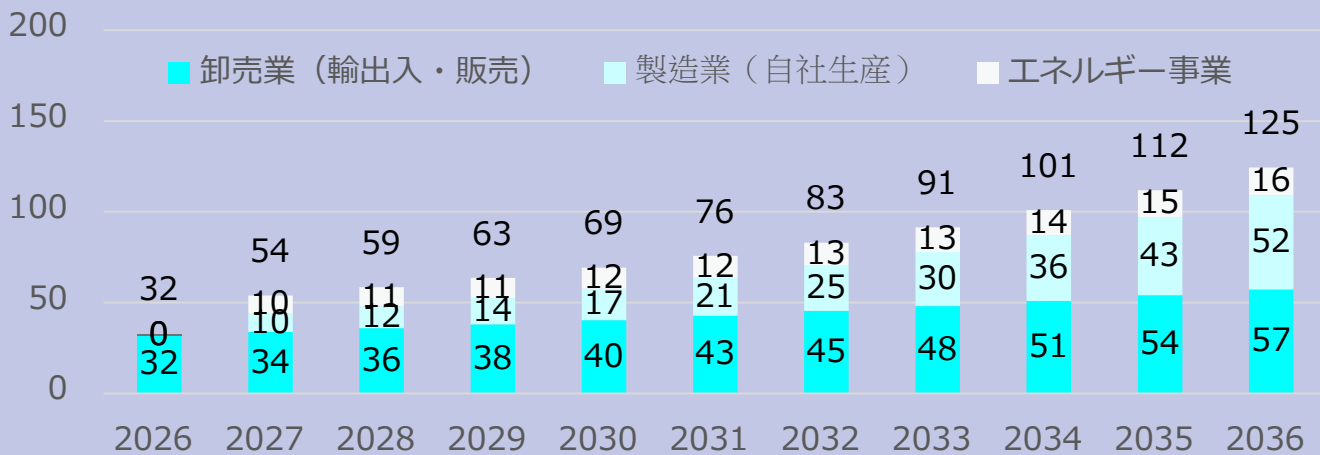
当社は、植物（Phyto）由来の医薬（Pharmaceuticals）に貢献するため、植物由来の健康食品・化粧品原料、素材に関する研究開発、輸出入、および販売を主たる業務とし、健康維持と豊かな暮らしの実現に役立つ機能をもつ食品・化粧品素材の開発を行っています。

製品の生産にあたっては、その素材の探索から、製造メーカーにおける有効成分の抽出・精製技術の指導、製品のマーケティング等を当社が行うことで、実質的に一貫した体制を構築していますが、売上高100億円実現に向け、藻類・植物エキス新素材（天然有効成分）の技術開発ならびに設備投資にも積極的に取り組む計画です。
なお、経営資源を効率的かつ最大限に運用するため、製造に関しては緊密な関係を構築した中国・東南アジアの技術レベルの高い製造メーカーに委託します。

また、本事業における生産・抽出工程においてはEFBをはじめとした農業廃棄物等のバイオマス燃料を活用し、生産工程全体でカーボンニュートラルを実現する新たな生産プロセス（ノウハウ）を構築することで環境問題にも大きく貢献いたします。



売上高



100億達成